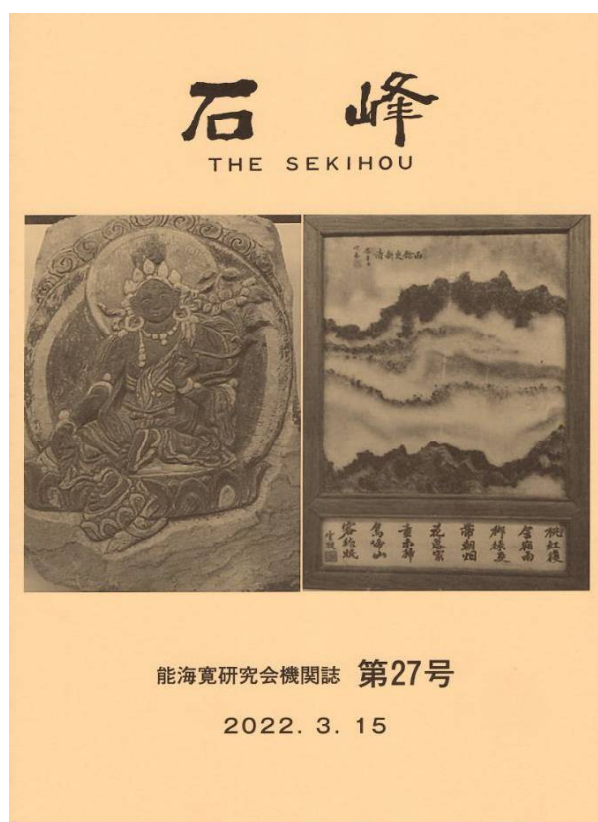


整えた「能海空の式」

タイトル	整えた「能海空の式」
著者名	植田義法
雑誌名	能海寛研究会機関誌『石峰』 ISSN 1883—4183
号	第 27 号
ページ	90—93
発行年	2022.3.15
E-mail	Sekihou@haz away.com(能海寛研究会)



整えた「能海空の式」

能海寛研究会会員 植田 義法

はじめに

表題をつけた小論は、能海寛研究会 2020 発行「25 周年記念論集」にある小論「共にある自然と人道（植田義法）」に続くものです。表題にある「能海空の式」は下のもの、

$$e^{(\pi+s)} = 20 + \pi + s$$
$$s = 0.00004 + 2\pi \left(0.00000001 + \pi \left(0.0000000001 + (6\pi^4 - t) \times 10^{-13} \right) \right)$$

この式によって得られる数値の構造は小論「共にある自然と人道（植田義法）」に示しています。

当該式の数値解釈は、2 年間 Facebook によって著名科学者を含む世界に公表してきましたが、近頃、数値解釈の整理がほぼ終了したことにより、今回あらためて石峰に報告します。

能海空の式は循環する自然の恒等式です。能海空の式は生きている自然に適用できます、もちろん私たち人間、社会もそこに含まれます。さらに能海寛の「空」に密接する能海空の式であることは、石峰にとって何より重要と思います。そこで、整理した数値解釈を示す前に、おそれながらダライラマ著「中論」講義（ダライラマ 14 世 2010 大蔵出版）より、考えに参照すべき事項をあげておきます。

(41p) 縁起の見解については、量子力学の分野において非常に細かな研究をしている科学者たちが、縁起の見解を完璧に支持する意見を述べています。

(41p) もう何十年か前のことになりますが、私はあるインド人の量子力学の科学者に会ったことがあります。

(省略) 「二十世紀において最近の科学者たちが研究し、新たに発見した事実を、インドの偉大な学者たちは二千年も前にすでに知っていたということは、まったく驚くべきことだ」とその人は言っていました。

(184p) よく考えてみるならば、「空である」と言われた時には、「あるのだ」と理解しなければなりません。何故ならば、「空である」とは、「その自性が空である」という意味なのであり、「自性が空である」とは、何かがあって、その自性が空なのだということを意味しているからです。何もないものの自性が空であるということではできません。ですから「空である」と言われたなら、「何かが存在する」と理解するべきなのです。

整理した数値解釈

小論の最後 2 ページにわたる図で示します。はじめの図ページは「25 周年記念論集」で示した図から選んで数値解釈を説明する、次ページの図が数値解釈の図です。

数値解釈から得る事項

ここに挙げる事項はすべて、学者でないものが説明してはならないと考えられる、学界・世界で新しい内容を含み、わかる者が数値をたどり、関連を見れば重大さに気がつく、慎重に取り扱うべき事項です。それを波佐で、浄蓮寺の近くで、能海寛研究会の支援があるとはいえ一人で、能海寛の後を追うことを成就した、ということだと思います。

これらの事項は「取扱注意」しかし、早いうちに、石峰には載せないが FB などで公表します。

[言語] 言語と音素, 和歌と俳句, ひらがな

→ 日本語, 英数字と科学

[言語] 言語, お互いの連絡, 社会, 共通

→ 脳, 心, 魂

[言語] 六方格子配置, 自分の周りがあつての自分

→ 南無阿弥陀仏 6 文字

[時間] 時間, 年月, 繰り返し, 生活, 共通

→ 時間遺伝子, 体内時間

[数式] 自然対数の底 e , 年日数(周期), そこに 17

[数式] e , 素数, $1/2$ とゼロ

→ ζ 関数, オイラーの公式

[数式] π が重なる, π 二乗, 求心力

→ π が速度なら重力加速度, エネルギー

[数式] 2.43 と $[3]$, 現象 $[\pi]$ と $[s]$ をつなぐ 2.43

→ 三元数の蘇生, 四元数と三元数と 7 そして 17

[分布] ゼロが共通, 同一平面上の位置

→ ゼロ共通であることの議論

[分布] 大きさの下限共通, 層, いろいろ多種

[分布] 対数による階層, 平等

→ 層ごとにコーシー分布

[分布] 150 ということ, 種, 集団, 持続生活

→ 規則, 構成, 役割, 分担

[形式] 人道の式, 生命の式, 共通のルール・法

[形式] 高木まで共通のルール, (DNA, RNA)

→ 素粒子から高木まで共通のルール, ブッダの「法」

